



喜多登

〽 月参りのこと 〽

毎月決まった日や曜日などに、神社や神棚、または邸内社(屋上のお稲荷さん等)に日々の感謝を捧げにお参りする事を月参りといいます。

今も当宮では毎月一日や、天神様の縁日である二十五日にはお参りされる方の姿が見られ、日本のゆかしい風景の一つのように思えます。

京都などの古い歴史を持つ地域では、同じ町内の住民や商売されている方など有志が集まって、**地元の氏神さまに月初めにお参り**される場所があります。それらは**お千度参り**と呼ばれ、このお参りの後にはみなさんでお食事をされ、地域の話題や情報交換、また転入者の地域への溶け込みなど、世代や職種を超えてつながりを持ち、**結束を固める機会**となっております。そういった味で、**心を一つに出来る参拝**が地域をまとめる役割を担っているそうです。

また神社にお参りするだけでなく、**社内に祀られている神棚や邸内社**などの前に祭壇を組んで、**地元の神社の神職の方**に出向して頂いて、**神事を執り行う**という形式の月参りもあり、これらは**月次祭**と呼ばれ、今もこの梅田で執り行っておられる会社が多くあります。

馴染みの無い方には、月参りを面倒に感じられるかと思いますが、例えばスポーツ選手が競技前にいつも同じ動作をするルーティンというものがあります。これを行う事で集中力を高めるそうです。これと同様に**毎月参拝する事で、心の安寧と気を引き締めて今月に臨む気持ち**を高める効果があるといわれています。

来月十月一日は年度の半期のはじまりです。この機会に、毎月決まった日に地元の神社にお参りされてみては如何でしょうか。

〽 はじめての神棚 〽

近頃、ご自宅に御神札を祀られる方が増えてこれ、神棚についてのお問い合わせをよく頂戴するようになりました。かつては、家には必ずあったものですが、ここ二十年であまり見られなくなり、寂しく思っておりましたので、徐々に日本人らしい風景が戻ってきている事を喜ばずにはおられません。

さて、その神棚ですがお祀りするに当たって、情報が多すぎて、**どうお祀りし始めたら良いのか**分からないという方のお声も聞きます。そこで簡略ではありますが、神棚を設けるにあたっての流れをご案内致します。

一、家の掃除をする。

※お清めの意味。神さまは清潔を好まれます。

二、神棚(宮形)を購入する。

※梅田近辺の神具店

宮清神具店(守口市一七一一〇)

永田神器(福島区海老江六一七一一)

三、神棚を設置する。

※目線より高い位置で、北を背中に南向きが望ましい。または神さまに相応しいと思う場所など。

※御神札は重ねても大丈夫です。

※一人暮らしの方は転勤などでお引越される事が多いので、すぐ移せるようタンスや本棚の上に設けられている方が多いようです。

※荒神さまなど台所の神さまは台所に。

四、日々のお供えをするものを揃える。

※米、酒、塩、水などをお供えする陶器類等。

※神立てや鏡などは、余裕があれば揃えましょう。

五、地元の神社(氏神さま)にお参りして、御神札(神宮大麻と、その神社の御神札)を受ける。

※神宮大麻とは伊勢神宮の御神札の事です。

六、御神札を神棚に納める。

※神棚を初めて設ける時は、地元の神社の神職の方に出向して頂いて、お祓いし、神棚に御神札を納めて頂く方が良いでしょう。

七、朝夕にお参りする。(二拝二拍手一拝)

※毎月一日、神棚を設置した日、家族の記念日、元日などにはお供え物をしてお参りしましょう。

以上が神棚を設ける場合の流れとなります。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、

au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀 知

